

令和3年度 児童発達支援事業所における自己評価結果

公表：令和4年 3月 31日

事業所名 こどもプラス大阪3rd吹田江坂教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導訓練室を広く使えるよう工夫を行い、安全面にも配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		新規職員の採用も随時行い、基準に沿った職員を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		指導訓練室を含め、様々な年齢にあわせた構造化を図っています。	事業所の入口付近に軽度の段差がありますが職員が付き添う等安全面での配慮を今後も継続して行きます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		感染症対策の実施や、整理整頓を含め、日々環境整備を行いながら清潔で安全な空間作りを行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		常勤職員が中心となり、日々細かな報告や話し合いを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		職員間で課題の把握、情報共有を行い、随時検討、改善を行っています。	今回保護者様よりアンケートで頂いたご意見をもとに、事業所内で検討を行い、改善に向けて対応を行って行きます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者様へは、集計の結果を書面にてご報告させていただくとともに、ホームページ上でも、公表を行っております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		完全な外部評価ではありませんが、こどもプラスHDによる、定期的な評価の実施を行い改善を行っています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内での定期的な研修の実施だけでなく、事業所外研修へも積極的な参加を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ご利用者様、保護者様へのアセスメントを実施しニーズに沿った児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		共通のアセスメントシートを活用し毎年4月に更新しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		相談支援事業所等と、連携、情報共有を図り、ご利用者様、保護者様のニーズに沿って、個別支援計画を作成しています。	
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		一人一人課題を把握しながら、個別支援計画に沿って、支援を行っています。	
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		常勤職員が中心となり、各支援員の長所を活かしたプログラムの作成、提供を行っています。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		反復プログラムと新しいプログラムを織り交ぜながら、ご利用者様が興味をもって取り組めるよう工夫を行っています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		必要に応じて個別での支援もしています。	基本の活動は集団活動ですが、ご利用者様の状況や課題に応じて、個別での対応を検討し、児童発達支援計画の作成、支援の提供を継続していきます。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の支援内容や役割を確認し、報告を含めて、ご利用者様の状態の把握、情報共有を行っています。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に当日の様子を振り返りながら情報の共有を行っています。また職員間で情報共有できる連絡ノートも活用しています。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の様子や支援方法などを記録を取り、課題を明確にすることで支援方法の見直しや改善を行っています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		2か月ごとにモニタリングを実施し、支援計画の継続や修正等の見直しを行っています。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的には児童発達支援管理責任者が出席しますが、状況や課題に応じて、最適であると判断した支援員が出席することもあります。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		随時、情報共有を図っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、医療的ケアが必要なご利用者様の利用はありませんが、必要の際には連携を図っていきます。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアが必要なご利用者様の利用はありませんが、必要の際には連携を図っていきます。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎や日々の体調を含めて情報共有、連携を図っています。また、サービス担当者会議にて、家庭、保育所(幼稚園)、事業所間で情報交換、共有を行うこともあります。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		学校によって異なりますが、特に進学時や進級時に送迎時の確認も含めて、情報交換、共有を行っています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		随時、連携を図っており、研修会などにも積極的に参加しています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		地域の公園等で一緒に活動することはありますが、それ以外ではありません。地域交流も含め、今後検討していきます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○		市の取り組みや吹田市事業所連絡会には継続して参加しています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や電話、LINEも活用しながら、保護者様と連携し、日々の様子や課題等の情報交換、共有を図っています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		保護者様からの相談を含めて、都度行っていますが現状では十分とは言えない部分もあります。今後も幅広い支援ができるよう、検討、改善に努めます。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約時に必ず説明を行っています。また、契約後もご不明点がありましたら、都度ご説明させていただき、各種手続き等に関しても、必要に応じてサポートを行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画作成後、保護者様に説明を行い同意を得ています。また、追加や変更があった際には、再作成を行い説明、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ご相談を受けた際には助言やサポートを行い、必要に応じて外部機関とも連携を図っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		令和3年度も新型コロナウイルス感染症の関係もあり、実施できませんでした。新型コロナウイルス感染症の動向を確認しながら、令和4年度は開催を予定しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご相談を受けた際には、必要に応じて外部機関との連携も図りながら、迅速な対応を心がけています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月会報を配布し、日々の活動の報告を行っています。また不定期ではありますが、ホームページ内でも日々の活動の様子をご紹介します。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		連絡帳の写真等も含めて、保護者様から同意を得ています。また、全職員に対して個人情報の取り扱いに関する指導も行き、管理の徹底に努めています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		契約書等の書類は、拡大文字版、ルビ版も用意しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現時点では、地域行事の開催は行っておりませんが、今後、必要に応じて実施の検討もしていきます。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを策定し、ご契約時に説明を行っています。また、定期的なマニュアルの見直しや、年間の計画による訓練も実施しています。	ご要望があれば、マニュアル等の開示も行っていますが、保護者様への周知方法については不十分な部分もあります。今後は保護者会等も活用し、周知を図ってきたいと考えています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画により、定期的な訓練の実施し、マニュアルなども随時更新を行っています。また、ご利用者様へは、外部施設を利用しての体験学習も実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		通所前のアセスメントにより、状況確認を行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様よりアレルギーの有無に関する情報は、確認を行っています。	医師の指示書は頂いておりませんので、必要に応じて医師の指示書の提供も求めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内で事例をファイリングし、いつでも閲覧できるようにしています。また、こどもプラス大阪各教室と情報共有を行い、安全管理、事故防止に向けての取り組みを行っています。	令和4年度より、安全管理に関する委員会を設置し、事業所内だけでなく法人全体で協議、検討行うことで、安全管理や業務改善の向上に対する取り組みを進めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待・権利擁護研修を毎年度実施し、虐待防止に向けた取り組みを行っています。また、行政機関やSSW等の外部機関とも連携を行い対応しています。	虐待防止・権利擁護委員会により、事業所だけでなく法人全体で、事例検討等も含めて協議、検討を行っています。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束ゼロに向けての取り組みを行っており、身体拘束実施の事例はありません。	身体拘束防止委員会により事業所だけでなく、法人全体で協議、検討を行い、身体拘束ゼロに向けた取り組みを継続していきます。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。